

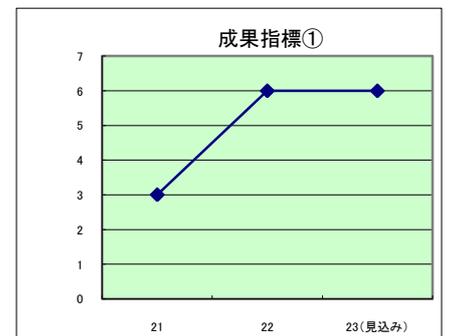
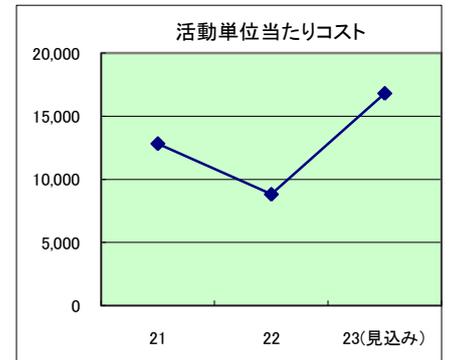
平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号

保高06

事務事業名		生活支援ハウス運営事業		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち		款	3	民生費	
	施策(節)	3	高齢者福祉		項	1	社会福祉費	
	施策の方向	(1)	地域包括ケアシステムの構築		目	3	老人福祉費	
関連する計画等	羽曳野市高齢者いきいき計画			事業	1	老人福祉援護		
事業の目的	対象(誰を・何を)	60歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯に属する方、及び家族による援助を受けることが困難な方等			作成部署	高齢介護課地域包括支援室		
	意図(どういう状態にしたいのか)	一定期間、介護支援機能がついた住居を提供することで、在宅生活の障害となっている問題の解決を図る。						
	事業の内容	在宅で生活することに不安のある高齢者等に対して、必要に応じて一定期間住居を提供することを通じ、安心して生活が送れるよう支援し、高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。						
根拠法令等	羽曳野市生活支援ハウス運営事業規則、羽曳野市生活支援ハウス入所審査会設置要綱							
事業開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和 13 年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度	平成	年度			
事業開始時からの状況変化	平成17年度より国・府の補助金が廃止され、交付税対象となっている。							
市民や議会の要望								
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()							
委託先	<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称()			委託内容	食事の提供、生活の支援等			
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他							

区分		21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込み)
事業費【1】	(千円)	8,361	8,361	8,361
人件費【2】	(千円)	750	360	720
職員数	正規職員	0.10 人	0.05 人	0.10 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)	(時間) 0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】	(千円)	9,111	8,721	9,081
財源内訳	国費	(千円)		
	府費	(千円)		
	市債	(千円)		
	その他(手数料・使用料等)	(千円)		
	一般財源	(千円)	9,111	8,721
活動指標(事業の活動実績)【B】	単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
① 利用日数	日	710	989	540
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		12,832 円	8,818 円	16,817 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		77 円	74 円	77 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	単位	指標設定の考え方	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	①	利用支援成功人数 (式)	人	生活の支援として成功した件数	目標	3	6
					実績	3	6
②	(式)			目標		達成率(%)	
				実績		100.0%	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
				○	○		○	○		有	在宅生活に不安のある高齢者等に対して、必要に応じて一定期間住居を提供することで、安心して生活が送れるよう支援している。

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
妥当性	市民ニーズが高い	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	在宅復帰及び一時利用の施設のため、持ち家や借家を維持しながらの利用となると利用者にとっては大幅な支出が見込まれる。また、利用者はある程度のADL自立が原則となっており、対象者が絞られてしまうため、十分施設を活用できていない。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	利用者数が多くないこともあり、利用日数あたりのコストは高くなってきている。
	受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	在宅生活が可能か施設入所等が必要かの見極めが必要な人や、ケアハウス等への入所待ちなどで活用されている。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	施設サービスのため、市民との協働事業としては馴染まないが、ボランティアの活用等は検討していく必要がある。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	一人ひとりに適合した支援を行うことができた。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当部局評価	総合評価	
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	
	評価の理由	
	<p>利用者は少数であるが、生活支援ハウスの職員等により、一人ひとりに適合した支援を行うことができた。しかし、利用者が減少しており、施設のあり方について検討する時期に入ったと考えられる。</p> <p>今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)</p> <p>この間、地域の社会資源として一定の役割を果たしてきたが、現在の利用状況を踏まえ、よりニーズのある施設への転用に向けて、施設設置法人との協議をすすめる。平成24年度から、介護保険法の改正も受け、第5期介護保険事業計画がスタートすることになっており、新しい計画期間中に、他の介護保険施設等への転用を視野に入れることとする。</p>	

行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	